

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧表

平成28年10月31日 公表  
平成30年11月30日 更新  
令和2年 4月17日 更新

■学校(小学校、中学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校)

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	愛媛県立今治特別支援学校(本館、第一教棟)	愛媛県今治市桜井乙32番地313	特別支援学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.37 Ctu・Sd=0.44	—	—	耐震改修済み
2	今治市立別宮小学校(校舎11、13)	愛媛県今治市別宮町5丁目1番地7	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.33 Ctu・Sd=0.33	—	—	耐震改修済み
3	今治市立常盤小学校(校舎17-1)	愛媛県今治市中日吉町2丁目6番55号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.40 Ctu・Sd=0.54	—	—	耐震改修済み
4	今治市立鳥生小学校(校舎1、5)	愛媛県今治市南高下町3丁目3番71号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.35 Ctu・Sd=0.43	—	—	耐震改修済み
5	今治市立桜井小学校(校舎16、18、23-1)	愛媛県今治市郷桜井1丁目8番26号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.31 Ctu・Sd=0.67	—	—	耐震改修済み
6	今治市立国分小学校(校舎1)	愛媛県今治市古国分2丁目7番1号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.29 Ctu・Sd=0.34	—	—	耐震改修済み
7	今治市立富田小学校(校舎14、16-1)	愛媛県今治市上徳甲394番地4	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.31 Ctu・Sd=0.54	—	—	耐震改修済み
8	今治市立日高小学校(校舎2)	愛媛県今治市別名446番地2	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.35 Ctu・Sd=0.67	—	—	耐震改修済み
9	今治市立乃万小学校(校舎14)	愛媛県今治市延喜甲349番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.31 Ctu・Sd=0.57	—	—	耐震改修済み
10	今治市立波止浜小学校(校舎1-4、4)	愛媛県今治市地堀1丁目3番40号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.33 Ctu・Sd=0.41	—	—	耐震改修済み
11	今治市立波方小学校(校舎4)	愛媛県今治市波方町養老甲803番地1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.35 Ctu・Sd=0.45	—	—	耐震改修済み
12	今治市立大西小学校(校舎1、3)	愛媛県今治市大西町大井浜103番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	Is/Iso=1.31 Ct・Sd=0.38	—	—	耐震改修済み
13	今治市立吉海小学校(校舎11、12)	愛媛県今治市吉海町八幡157番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.37 Ctu・Sd=0.54	—	—	耐震改修済み
14	今治市立桜井中学校(校舎21、22)	愛媛県今治市郷桜井1丁目8番8号	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.33 Ctu・Sd=0.57	—	—	耐震改修済み
15	今治市立西中学校(校舎1)	愛媛県今治市山路554番地3	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.33 Ctu・Sd=0.39	—	—	耐震改修済み
16	今治市立北郷中学校(校舎19、21)	愛媛県今治市中堀4丁目1番1号	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.31 Ctu・Sd=0.43	—	—	耐震改修済み
17	今治市立菊間中学校(校舎17)	愛媛県今治市菊間町浜2628番地1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.35 Ctu・Sd=0.71	—	—	耐震改修済み
18	今治市立大三島中学校(校舎1、2)	愛媛県今治市上浦町井口5610番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.33 Ctu・Sd=0.59	—	—	耐震改修済み

■体育館(一般公共の用に供されるもの)

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	今治市営中央体育館(アリーナ、格技場)	愛媛県今治市別宮町6丁目2番地2	体育館	「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is=0.75 q=1.39	—	—	耐震改修済み

■ホテル、旅館

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	今治湯ノ浦ハイソ	愛媛県今治市湯ノ浦23番地	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=0.53 Ctu・Sd=0.34	未定	未定	令和元年12月31日閉館

■保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	今治市本庁舎	愛媛県今治市別宮町1丁目4番地1	公益上必要な建築物	—	—	耐震改修	未定	要安全確認計画記載建築物に該当
				一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=0.64 Ct <sub>u</sub> ・Sd=0.22			
	第一別館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	鉄骨が充腹材の場合 Is/Iso=0.74 Ct <sub>u</sub> ・Sd=0.33			

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
	I. 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。	II. 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。	III. 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso<0.5又はCt <sub>u</sub> ・Sd<0.15	左右以外の場合	1.0≤Is/Isoかつ0.3≤Ct <sub>u</sub> ・Sd≤1.25 1.25<Ct <sub>u</sub> ・Sd
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso<0.5又はCt <sub>u</sub> ・Sd<0.15・Z・G・U	左右以外の場合	1.0≤Is/Isoかつ0.3・Z・G・U≤Ct <sub>u</sub> ・Sd
「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is<0.3又はq<0.5	左右以外の場合	0.7≤Isかつ1.0≤q
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	鉄骨が充腹材の場合 Is/Iso<0.5又はCt <sub>u</sub> ・Sd<0.125・Z・G・U	左右以外の場合	1.0≤Is/Isoかつ0.25・Z・G・U≤Ct <sub>u</sub> ・Sd
	鉄骨が非充腹材の場合 Is/Iso<0.5又はCt <sub>u</sub> ・Sd<0.14・Z・G・U	左右以外の場合	1.0≤Is/Isoかつ0.28・Z・G・U≤Ct <sub>u</sub> ・Sd

I. 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。

II. 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。

III. 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

(※) 震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。

いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては、損傷が生ずるおそれや倒壊するおそれは少ない。

(※) 『構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果』の欄に記載の、Is/Isoに用いるIsは、一律、Z(地域指標)=0.9、U(用途指標)=1.0として算定した。